佐々木たかのり

刈谷市議　活動レポートNo12　令和8年10月号

■活動の3本柱■
①安全
②地域で支援
③将来も賑わう
まちづくり



連絡先：デンソー労働組合内　〒448-8661　刈谷市昭和町1-1
☎（050）1728-3511　Fax（0566）23-8688 発行：佐々木たかのり後援会

ご挨拶

ようやく秋の気配を感じる頃となりました。今年は、暑い夏の思い出と、熊本地方で発生した地震や、関東、能登、名古屋といった各地で発生した線状降水帯による水害が、記憶に強く残りました。

9月議会では、「災害対策」と「カーボンニュートラル」をテーマに一般質問を行いました。

災害報道を見聞きした市民の皆さまから寄せられた心配の声を踏まえ、**活断層**による直下型地震への備えをはじめ、**避難所の生活環境向上、飲料水の確保、水害対策**まで幅広く質問し、対策の継続を訴えました。中でも、これまで一般質問や委員会で継続して提案してきた避難所環境の改善について、大きな前進がありましたのでご紹介します。今後も市民の皆さまの声を市政に届けてまいりますので、引き続き、ご支援を賜りますようお願いいたします。

令和８年９月度　一般質問

■災害への取り組みを問う！　①安全

これまで、室内型・屋外型インスタントハウスの導入による避難生活環境の向上を求めてきました。本議会では、市内企業と連携しプライバシーの確保や防音、防疫に効果の高い「段ボールハウス」を開発し、中学校などの避難所へ順次導入する方針が示されました。

仮設住宅が整うまでの「つなぎ」として、またペット同伴避難や共同生活が難しい方の生活環境の向上にも、「コンテナハウス」や「テント」の供給を研究するとの回答を得ました。さらに、災害時の調達・供給体制を確保する広域災害ネットワークに参加する市町村との協定を活用し、体制を整えていく考えが示されました。避難生活の質の向上に向け、これまで訴えてきた提案が、具体的な施策として動き始めました。

〈コンテナハウス・テントイメージ〉



〈MicroSoft Copilot〉

■カーボンニュートラルの取り組みを問う！　③将来も賑わう

カーボンニュートラルでは、私が令和６年の一般質問以来、導入の検討を求めてきた次世代型の「ペロブスカイト太陽電池」について、市が総合運動公園で実証実験を開始したことを確認しました。ペロブスカイト太陽電池は、薄く軽く曲げられる特徴があり、これまで設置が難しかった場所への活用も期待されています。

市は実証実験を通じて発電データを収集し、「全国に先駆けた社会実装を目指す」と答弁しました。2030年、2050年の目標達成には、従来の延長線上だけではなく、新たな技術への挑戦が不可欠です。今回の実証実験は、刈谷市が未来のエネルギー活用へ踏み出した大きな一歩となりました。

議会映像



市政トピックス

補正予算、決算内容から一部を紹介

■ 不妊治療等助成事業 ②支援

不妊治療を受ける夫婦の、経済的負担を軽減するため、生殖補助医療に係る費用の助成割合を拡充します。

助成率：従来の5割から7割に拡大（最大10万円）

令和8年4月以降に開始した先進医療費が助成の対象となります。



先進不妊治療への助成は、皆さまの声を市に届け、実現した施策です。今回さらなる拡充が図られました。

■ 市道3-807号他新設改良事業 ①安全

依佐美地区工業団地の2期開発に伴い、野田十三塚交差点近辺から、小垣江町西湫の県道につながる道路が整備されます。（県施工区間810m、市施工区間673m）

この道路は、開発で増加が予想される物流車両による渋滞緩和にも寄与すると同時に、依佐美中学校への新たな通学路として活用される予定です。令和8年度は用地取得や道路設計を行い、刈谷市初となる自転車道も整備される予定です。令和１５年度末完成を目標に進めています。



農地を通る区間もあり、日暮れ後は暗くなることが予想されます。防犯灯など中学生の安全な通学路整備を今後フォローしてまいります。

写真でみる最近の活動報告

7月：吉本お笑いライブショー





8月：市長への予算要望

8月：万燈まつり



暮らしの相談：細井県議連携

■ 通勤に使う歩道に雑草が生い茂り、通行に困っている！

国道の側道のため、**「細井しんじ」**県議から国道管理部署に改善を要望し、除草が実施されました！





地域の困りごと、市政へのご意見・ご要望がございましたら、

「暮らしの相談カード」「ホームページから」お気軽にご相談ください。

Facebook　公式HP